総　務　政　策　委　員　会　会　議　録

招　　集

令和８年９月１４日（月）午前１０時　議会委員会室

出席委員（９名）

（委員長）森　田　悟　史　　　（副委員長）加　藤　　彰

大　下　哲　治　　徳　田　博　文　　松　田　真　哉　　矢　倉　通　宏

吉　岡　古　都　　鷲　尾　一　樹　　渡　辺　穣　爾

欠席委員（０名）

説明のため出席した者

伊澤副市長

【総合政策部】西川部長

［交通政策課］倉本課長　戸﨑担当課長補佐

出席した事務局職員

毛利局長　田村次長　松田調整官　松原議事調査担当主任

傍 聴 者

新井議員　伊藤議員　今城議員　岡田議員　門脇議員　小枝議員　田村議員

塚田議員　津田議員　錦織議員　西野議員　前島議員　又野議員　三木議員

矢田貝議員　渡邉議員

報道関係者１０人　一般１人

報告案件

・日本交通株式会社米子営業所職員による米子市循環バス及び路線バス運賃の着服事案について［総合政策部］

〜〜〜

午前１０時００分　開会

〇森田委員長　ただいまより総務政策委員会を開会いたします。

報道機関から撮影の申出がありましたので、これを許可いたします。

本日は総合政策部から１件の報告がございます。日本交通株式会社米子営業所職員による米子市循環バス及び路線バス運賃の着服事案について、当局からの説明を求めます。

〇西川総合政策部長　本日はお忙しい中、また９月議会の日程も非常にタイトな中で本委員会を開催し､私どもに説明の機会を作っていただきまして本当にありがとうございます。

本日の報告は、先ほど委員長からお話しありましたとおり、日本交通の関係の案件でございます。本案件につきましては、先週金曜日午後になりますが、日本交通様の方がこちらの記者室の方で公表を先に行っておられまして、その資料につきましては、取り急ぎでございますが、委員の皆様、議員の皆様各位にご提供、ご共有させていただいたところでございます。そういう状況でございますが、市といたしましては、まずは警察の捜査に協力いたしまして、全容の解明に取り組んでまいりたいというふうに考えておりますし、それと同時並行で、すでに交付しております負担金の返還でございますとか、ないしは損害

賠償請求でございますとか、関係機関も多くございますので、国、県、それから町村と協力いたしまして、そのあたり対応してまいりたいというふうに考えております。

ということで、詳細につきましては担当課長の方より説明をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○森田委員長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 それでは、日本交通株式会社米子営業所職員による米子市循環バス及び路線バス運賃の着服事案についてご報告させていただきます。資料の方をご覧いただきたいと思います。

先週の金曜日、日本交通様が記者会見をされたということでしたけど、それに先立ちまして、同日、本市に報告がございました。まずその要旨の報告を１番でさせていただきたいと思います。

不正の判明というところ、同社の内部調査により職員２名による現金収入金の着服が判明したという報告がございました。被害の範囲につきましては、米子市循環のだんだんバスにとどまらず、路線バスにも及んでいること、ここは確認できているということです。そして損害賠償の方針も合わせてご提案がありまして、本市が支出済みのだんだんバス負担金の影響があるということです。損害額についてはこれから協議ということですけども、損害賠償をするという意思表示、考え方が示されました。その該当の職員の処分と捜査状況についてもご報告いただき、職員２名はすでに懲戒解雇処分となっております。その他関係役職員についても厳正に対処するということで、こちらも報告がございました。本件につきましては、警察署へ被害を届け出られ、警察の捜査がすでに始まっているということはご承知の通りかと思います。

２番、日本交通の方からの報道発表が当日の１３時にございまして、その概要について簡単に報告します。こちらについては別添の資料をご覧いただきたいと思います。ちょっと先ほどの報告と重複するかもしれませんが、説明させていただきます。

この会見につきましては、先ほど申し上げました１３時、米子市の市政記者クラブの方で会見を行われたところでございます。まず１番、発覚の経緯ということで、本市から、共同運行をしてございます日ノ丸自動車様と比較しまして、日本交通の運賃収入が長期にわたり少ないという状況が続いているという指摘をしたことを受けまして、日本交通で調査した結果、今回の事実が発覚したという結果の報告が１番目です。着服の概要につきましては、先ほどお話をさせてもらったと思うんですけども、運賃が保管されている運賃収納室に入り、現金の一部を持ち出したり、着服していたという状況でございます。期間ですとか被害額につきましては、現在も調査中ということで、まだ額の確定というのはできていない状況です。

続きまして、着服職員の処分につきまして、先ほど簡単に触れましたけども、２名のうち１名は、収納を担当される路線係という係の職員です。職員Ａとなっておりますけども、この方を本年９月４日付で懲戒解雇。もう一人が職員Ｂ、運行を管理する運行係の職員で、こちらは同年９月７日付で懲戒解雇ということでございます。

今回の発生の原因についても言及がございまして、不正防止意識の欠如があったりとか、あとは、この記者会見でも一番焦点になりましたけども、現金管理体制の不備があった、ずさんな処理がされていたということの報告がありました。損害賠償につきましては、先

ほど申し上げたとおりで、額の確定がこれからですが、市と協議しながら適切に対応するということを記者会見でも説明されました。合わせて再発防止策もありまして、今後現金取扱手順の見直しですとか、運賃収納室への入退室の厳格化、あとカメラの増設、更新、セキュリティ強化を図っていくということで表明されております。

会見の内容はざっとそんな感じで、委員会資料の方に戻っていただきまして、最後の３番目です。今後の対応ということで、市の現時点での対応の考え方について説明いたします。

まず立ち入り調査ということで、１で書いておりますけども、本市におきましても警察の捜査に協力するとともに、鳥取県、国、関係機関と連携しまして、日本交通株式会社への立ち入り調査を実施したいと考えております。続きまして、負担金、補助金の賠償の協議、これも合わせて進めてまいりたいと思います。負担金というのはだんだんバスの方の運行の負担金でございます。これについても協議を始めます。あと路線バスにも影響があるということですので、ここは本市だけではなく国、県も関係しますので、連携しながらということになろうかと思いますけども、こちらについても協議したいということです。合わせまして、警察の捜査も今後進展していくと思いますので、ここも踏まえながら、日本交通と適切に協議を行っていくという考えでございます。

以上で説明終わります。

○森田委員長　当局からの説明は終わりました。

委員の皆様からの質疑、ご意見を求めます。

徳田委員。

○徳田委員　何点か質問をさせていただきたいと思いますが、まず、日本交通さんが出していらっしゃる発覚の経緯のところで､米子市から指摘をしたということでございますが、これ読めば分かるとおりなんですけど、なぜこれが分かったか、その経緯についてお知らせいただきたいのと、いつの時点で分かったかということ、以上２点教えていただけますでしょうか。

○森田委員長　倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長　まず発覚の経緯でございますが、当初は日ノ丸自動車様の方からご相談がございました。というのが、だんだんバスの運賃収入は毎月利用者数と運賃収入の報告をいただくんですけど、２社で連名で提出いただいております。まず日交様の方で日交様分を取りまとめられ、それを日ノ丸自動車に出して、提出は日ノ丸の方がされておりますので、合算した数字として米子市に報告されております。ですので日ノ丸自動車様が２社分の状況を把握しておられて､ちょっと不審に思われたということで市に報告があり、そこから市も過去にさかのぼって調査をしましたところ､今回の事案が分かりましたので、それを日本交通の方に指摘したという経緯でございます。日程の報道もございましたが、米子市から６月３０日に日本交通に指摘したということで、これは間違いない情報でございます。それで、今正確に日付が分からないんですけど、２週間ほど前に日ノ丸自動車からご相談があったと。それを踏まえて市の方も過去にさかのぼって、２週間ほどかけて調査をしたりしてから、日本交通の方に行って指摘したという流れです。

○森田委員長　徳田委員。

○徳田委員　では６月３０日の時点ではもうおかしいというのが分かっていたというこ

とですか。
○森田委員長　倉本交通政策課長。
○倉本交通政策課長　着服があったかどうかというのはそこでは分かっていなかったですけども、数字として、通常ですとその２社の運賃収入というのは、理論上は同じレベルに収まるべきものが、下がったということは確認できておりました。
○森田委員長　ほかに。
　松田委員。
○松田委員　米子市は日ノ丸さんの方からおかしいんじゃないかという声があって、ということです。報道でも１０年ぐらい長く長期にわたってということだったんですけども、それまでの間で、何かこれおかしいんじゃないかというような相談とか指摘とかっていうのはなかったんですか。
○森田委員長　倉本交通政策課長。
○倉本交通政策課長　日ノ丸様の方からお話があったのは今回が初めてでしたし、先ほども申し上げましたけど、市の方も元々２社連名で合算した報告を受けていました。その付属資料としては日計簿とか会社ごとの収入というのはあったんですけども、市のチェックの仕方というのが、合計で出てきた運賃収入を、例えばですけど運賃が前月より増えましたね、減りましたねっていうこととか、あと前年同月比、前年と見てどうだろうということとか、コロナ禍で結構数字の動きがあったので、コロナ前に戻すっていうのを私たち目標にしてましたので、まだまだちょっと遠いなとか、そういう月ごとで合算した金額の視点でチェックしていた関係で、ちょっと２社の比較というところまで手が回っていなかったという実態でございます。
○森田委員長　松田委員。
○松田委員　そうすると確認ですが、内訳の資料は米子市はもらってたんですか。
○森田委員長　倉本交通政策課長。
○倉本交通政策課長　おっしゃるとおりで、内訳の資料は２社分がございました。
○森田委員長　松田委員。
○松田委員　そうすると、議会の方には内訳の資料というのは出していただいた記憶はないんですけど、やっぱり合算の運行の推移みたいな形、運行というか売上ですかね、というところまでだったですかね。
○森田委員長　倉本交通政策課長。
○倉本交通政策課長　はい。これまで報告の関係はすべて合算した数字でさせていただいておりました。
○森田委員長　松田委員。
○松田委員　例えば監査なんかもそのあたりチェックするようなところまでは資料としてはなかったというか、そういうところでチェックできなかったのかなっていうことも思ったんですけど。
○森田委員長　倉本交通政策課長。
○倉本交通政策課長　私たち事務側の監査という意味でしょうか。それとも市の監査委員会とかでしょうか。
○松田委員　市の監査委員。

○倉本交通政策課長　市の監査委員の方ですね。それにつきましては、提出された書類そのものは保存しておりますので、監査があった場合は、その帳簿をそのままお渡ししますので、見る機会はあったんじゃないかなとは思います。

○森田委員長　松田委員。

○松田委員　なかなかやっぱり売上の推移というか、目線がそこまではなかった、まさか不正がという目線がなかったのかなと思いますけども。期間も長期ということなので、金額もかなりになってくるんじゃないかということで、米子市としてこれからどのように対策、チェックしていくかっていうところが重要になってくると思うんですけど、そのあたり米子市はどのように考えているんですか。

○森田委員長　倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長　このたび日交さんの方で不正があったわけですけども、市の監査、チェック体制というのも当然適正に処理していかないといけないと考えております。今回の事態が運行経費から運賃収入を引いて、差額の赤字部分、そこを負担するという、差額負担する格好でしたので、運賃収入そのものが市の歳入にはなってないので調定とかも当然ございませんし、そこに落ち度があったというか、なかなかチェックはしにくかったのかなというふうに思います。しかしながら、このような事案が二度と起きてはなりませんので、毎月報告いただく書類には付属資料として日計とか、会社ごとの集計もございますので、日交さん、日ノ丸さんの運行が継続できるということであれば、２社の比較を日計ごとに適正にチェックしていきたいと思います。

○森田委員長　松田委員。

○松田委員　内訳の資料も、過去にどこかで気づいてたかもしれないタイミングがあったのかなと思ったりします。ですので、今後起こさないようにということなんで、出てきた資料をしっかり見ていただいて、こういうことが起こったんで、全部性善説ではなくて、ちょっと厳しくチェックするという目線で、今後同じようなことが起こらないように、しっかりしていただきたいと思います。今後のことについて、再発防止策もですし、損害賠償云々というところも、おそらく議会の方には報告いただけると思いますけれど、また引き続きこの案件については、当面の間、きちっとした報告をお願いしたいなと思います。以上です。

○森田委員長　他にございますでしょうか。

吉岡委員。

○吉岡委員　ちょっと担当課が違って申し訳ないんですが、もう少し監査のことについて伺いたいので、副市長とかご答弁いただけたらなと思うんですが。他市では監査委員が立ち入りの調査を結構されているみたいなんです。それでこのバス会社に関しましては、生活路線運行対策事業なんかも２億円以上のお金を投入しているということで、やはりそういうところに対して、日常から立ち入り検査をするというような体制は築けないものなんでしょうか。

○森田委員長　伊澤副市長。

○伊澤副市長　市の監査委員の監査についてのお尋ねでありますが、どういう体制を取るかというのは、独立した機関でありますので、監査委員の方でご検討いただくということになると思います。一般論で申し上げると、そういった体制、やり方というのを常時取る

かどうかは別として、可能か不可能かというのであれば、選択肢の一つとして可能な面があるんじゃないかなというふうには思います。 法令に基づく監査ということではなくて、市のいわゆる予算執行、あるいは補助金、あるいは負担金、これの行き先に対する監査ということで可能ではないかなというふうにこの時点では思います。ただ繰り返しになりますが、どういう体制を取られるかというのは、監査委員の方で独立してご判断いただくということだと思います。以上であります。

○森田委員長　吉岡委員。

○吉岡委員　分かりました。

○森田委員長　他にございますでしょうか。

ないようですので、本件については終了いたします。

以上で総務政策委員会を閉会いたします。

午前１０時２０分　閉会

米子市議会委員会条例第２９条第１項の規定により署名する。

総務政策委員長　　森　田　悟　史